

ケリ（チドリ科） 全長36センチ

前回紹介したケリのその後。

今日もいつもの農道に十数羽がたむろしていたが、殆どが立ったままでじっとしています。餌を探す訳でもなく、こちらを警戒する様子もありません。あまりに動かないのでそろそろ退却しようかとしていたところ、雨雲が近づきザザーと大粒の雨が落ちてきた。

すると今まで動こうともしないケリたちが、急にそわそわと歩き始めたのです。地面を眺めていたケリは、たちどころにミミズを引っ張り上げたのです。かなりの大物です。



バタバタと伸びをした。

どうして雨が降ってきたのと同時に、餌探し行動に移ったのだろうか。

もしかして、ケリは雨が降ったらミミズが這い出して来ることを知っているのではないだろうか。これまでの観察から、足踏み採餌という習性があることは知っていました。

地上を歩きながら片脚を前に出し、貧乏ゆすりのように地面を振動させる行動です。ミミズは天敵のモグラが近づいてきたと気配と感じ、這い出して来ると言われています。



何をするわけでもなく、じっとしている。



リラックスしている時に見られる、羽繕い。

しかし、雨が降って来た時にもこのような行動をすることはあるのだろうか。

ネットでミミズの習性を調べてみたら、確かにそのようなこともあると記されていました。いや～、初めて知りました。ケリは偉いというしかありません。



地中から引っ張り上げたのは、大物です。背中には雨粒が。



この後パクリと飲み込んだ。